

アリアンス株式会社 ZEH 目標公表資料 ZEH 事業計画書

※ZEH シリーズ受託率目標（ZEH 及び Nearly ZEH 年度別受託率合計）

ZEH 普及実績										ZEH 普及目標	
2020 年度		2021 年度		2022 年度		2023 年度		2024 年度		2025 年度	
新 築	0%	新 築	10%	新 築	10%	新 築	14%	新 築	10%	新 築	75%
既 存	0%	既 存	0%	既 存	0%	既 存	0%	既 存	0%	既 存	50%

※ZEH の周知・普及に向けた具体策

社員自身が理解すると共に、HP・パンフレット等を通じ、今後の住宅環境に ZEH が必要とされている理由をわかり易く説明しお客様に広く理解して頂く。建築コストが増加しているからこそ、住宅を ZEH 化することにより、その後のランニングコストを抑えることができること、住宅内の環境を一定にすることでヒートショック等による体の変調を低減し気温差の激しい中でも快適に過ごすことが出来ること、家計に優しく健康で快適な生活を送ることができることもご理解いただけるよう努めてまいります。

弊社は現在、長期優良住宅を全棟標準にしております。全棟消費エネルギーの計算をし、ZEH 基準を満たしております。住宅を ZEH にすることのメリットを十分に周知していける様に務めてまいります。

※ZEH のコストダウンに向けた具体策

ZEH 基準住宅に対する当社の取り組みを、関連業者様や設置業者様にご理解と協力をいただいております。

昨今より高騰している住宅に関連する部材・機器の情報を常に精査し、省エネや創エネの費用対効果を念頭におき、各関連業者様や設置業者様に協力を要請していきます。さらに住宅の計画段階において、配置・設置等を考慮することによりコストの低減を実現しています。

※その他の取り組みなど

ZEH の根幹である二酸化炭素排出量の削減（一次エネルギー消費削減）等を考えますと、第一に必要なことは「各家庭での省エネへの取り組みを促進すること」が不可欠だと考えます。電力モニターをすべてカラー化し、買電と売電を目視出来る様にしております。

根本的な課題としては、ZEH で得られるメリットをお施主様にご理解いただけるような伝え方・発信力が我々に必須だと考えます。その為、積極的に研修会や勉強会などに参加していきたいと思っております。

昨今の住宅コスト上昇、その他物価上昇や消費エネルギー価格の上昇に伴い、お施主様におかれましては節約への意識が年々上昇していると感じています。

今後の取り組みとしましては、HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）を取り入れる事で消費エネルギーをより一層「見える化」し、各家庭においてさらなる省エネへの関心を持っていただくことが必須かと思われます。消費エネルギーの高い設備に関しましては、上記にもお伝えした「見える化」に力を入れ、年間の総エネルギー量や料金の比較を行い、長期間で考える省エネ・総エネを発信することが必要とも思われます。